

船迫窯跡公園体験学習館では七月十五日から今月七日（日曜日）まで夏休み特別企画展『里山の生きもの』を開催し、多くの来場者で賑わっています。

里山は人間が生活する場所に隣接する山のごとで、そこでは人間と生き物が同じ生態系の中で共存共栄しています。

人間は生きていくために必要なだけ動物を狩猟し、また燃料としての薪を確保する等のため山の雑木を適度に伐採してきました。そうした人間の営みによって山の環境が程よく保たれ、約一万二千年前の縄文時代以来の長期間に渡って里山の生態系が守られてきました。

ところが昭和三十年代（一九五五）以降のエネルギー革命によってガス・電気が一般家庭に広く普及したことにより里山での薪材調達の必要がなくなり、その結果、適度に管理されていた山林は木々が鬱蒼と生い茂り、動物たちが生活しにくい環境になってしまいました。さらに道路や住宅開発が近隣の里山に及び、生活場所を齧かされたイノシシ・シカ・タヌキ等の動物が平地の田畑や植林された山林に出没するようになり人間の生活に危害を及ぼすようになってしまいました。本来は人間と共存共栄してきた動物たち。そうした身近で生活する動物たちがいることを多くの方々に知っていただくために今回の特別展を企画しました。

それでは展示されている動物の一部をご紹介します



▲里山の生きもの（コジカ）

しましろう。ニホンジカはイノシシと共に縄文時代以降、狩猟の対象となっており、その姿はしばしば弥生土器等に線刻で描かれます。オスジカの角が毎年生え替わるため、古代人は五穀豊穡のシンボルとして神聖視したようです。なお、シカの角は一歳以上のオスにしか生えず、春先に生え始め繁殖期である秋頃にその成長を終えます。そして翌年の春先に抜け落ち、新たな角が生え始めます。一年目は枝分かれのない一本角ですが、二年目は二又に枝分かれしない年目には三又に枝分かれし、最終的に四又に枝分かれした段階で成熟した大人のオスジカになると言われています。この他にもイノシシやタヌキ・イタチ等の動物も展示されています。九月七日までです。お見逃しなく。

（文化財保護係 馬場 克幸）

NPO法人しいだコミュニティ倶楽部からのお知らせ

しいコミ スポーツまつり参加者募集！

スポーツの秋！元気に身体を動かしてリフレッシュしましょう。今年も充実したプログラムとなっています。町民のみなさんの健康な身体づくりのためのイベントです。会員外の方もぜひ参加してください。

日時：10月18日（土）9：00～受付
場所：椎田体育館
対象：築上町民、または勤務する者
参加費：500円（弁当とお茶を用意します。）
持参品：上靴

スポーツのできる服装で参加してください。

申込締切：9月30日（火）

※内容（④の前に、昼食をはさんで行います）

①体力テスト	自分の握力や筋力や体脂肪など知りたいと思いませんか？
②健康指導	今年のテーマは、「血圧」です
③ストレッチ指導	身体が軽くなります。家庭で続けると筋力アップ
④ニュースポーツ大会	グループでニュースポーツに挑戦！豪華景品あり！



自分の健康は
自分の手で！